

平成18年度 決算 のあらまし

平成18年度一般会計及び特別会計の決算が、平成19年9月定例議会で認定されました。

一般会計の歳入は、74億3,606万円で、前年度と比較して0.8%の減額となりました。町税及び所得譲与税が前年度に引き続き増収となりましたが、地方交付税や臨時財政対策債が減額となり財源不足が生じました。このため、この財源不足を基金の取崩しで補うこととなりました。

また、歳出は、70億9,789万円で、前年度と比較して2.4%の減額となりました。政策的事業に充てられる財源が縮小していく危機的な町の財政状況の中で、全ての事業を見直したうえで、「清新で活力あるまちづくり」を目標に各事業を実施しました。

特別会計全体の決算規模は、歳入総額58億2,619万円、歳出総額55億4,311万円となりました。

主な事業は次のとおりです。

子育て支援・教育関連施策

◆**児童福祉施設保育委託事業 2億4,404万円**
民間保育所に乳幼児の保育を委託し、児童の健全育成と子育てを支援しました。平成18年度は述べ3,365人(管外受託児童を除く)が利用しました。

◆**学校施設整備管理事業 5,459万円**
児童・生徒の安全確保を図るため、施設の計画的な整備等に努めました。平成18年度は、松伏小学校の校舎内給水管改修工事及び校舎簡易耐震診断を実施し、金杉小学校体育館、松伏中学校体育館及び技術棟の耐震化優先度調査を実施しました。

◆**適応指導教室運営事業 778万円**
教育相談員3名を配置し、小中学校に登校できない児童生徒に活動の場を提供し、自立と学校への復帰を支援しました。平成18年度は、入室児童生徒の中から2名の生徒が学校へ復帰しました。

福祉・健康関連施策

◆**障害者支援費支給事業 5,641万円**
身体障害者、知的障害者及び障害児の施設サービスや在宅サービスの利用に対して支援費を支給しました。

◆**障害者自立支援事業 5,472万円**
平成18年度は障害者自立支援法が施行され、これまで障害種別ごとに提供されてきたサービスの一元化が図られ、既存のサービス体系の再編や利用者負担の見直しなどを行いました。

生活関連施策

◆**都市計画道路整備事業 1億1,435万円**
住環境の改善、道路交通網の充実を目的とした都市計画道路を整備するため、主に都市計画道路6号線の用地の買収等を行いました。

◆**町道維持管理事業 2,935万円**
安全で快適な道路環境を確保するため、道路の整備及び改善を行いました。

◆**側溝新設事業 971万円**
地区路線の道路冠水の解消を図るため、大川戸地区及び金杉地区に側溝を新設しました。

産業振興施策

◆**かんがい排水整備事業 1,420万円**
農業基盤の整備を図るため、用排水路の改修・整備を実施しました。平成18年度は道向地区、寺前・宿通場水機場を整備しました。

◆**農業活性化事業 145万円**
経営感覚に優れた農業者の育成や消費者ニーズにあった農産物の生産、特産物の創出を図ることと、地域農業の活性化を推進しました。

その他主な施策

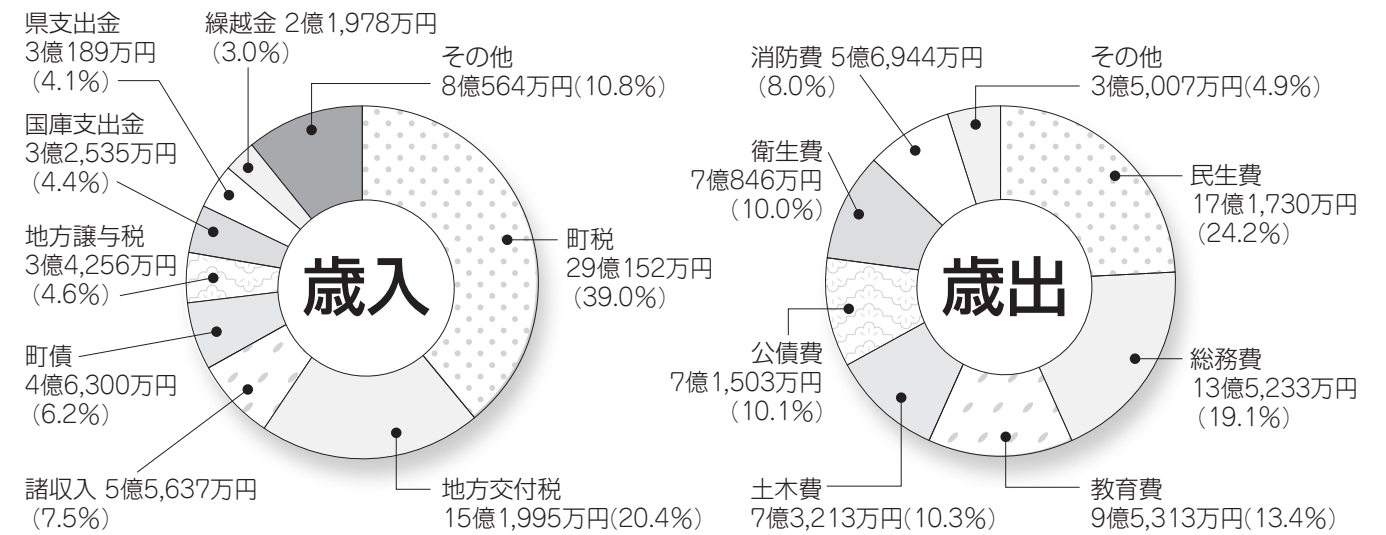
◆**教育環境支援事業 1,436万円**
◆**健康づくり推進事業 85万円**
◆**花いっぱい運動支援事業 26万円**

〈一般会計〉歳入・歳出の内訳

※()内は構成比

歳入：74億3,606万円

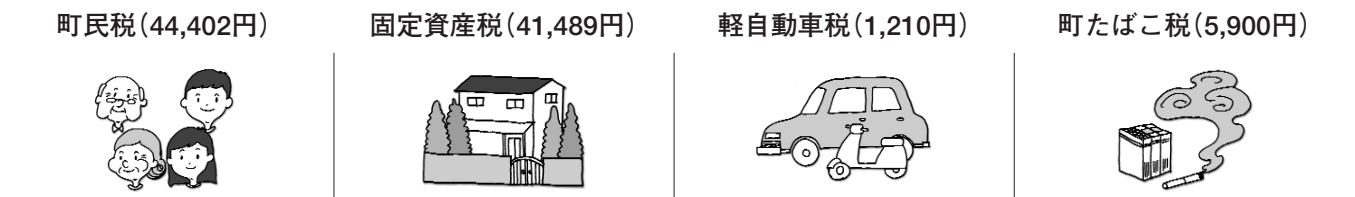
歳出：70億9,789万円



町民一人あたりに使われたお金 合計：227,500円



町民一人あたりが負担した町税 町税総額：93,001円



※人口/3万1,199人(平成19年3月31日現在)

特別会計歳出決算 合計：55億4,311万円

